

小学校教諭一種免許

小学校教諭になるためには、小学校教諭免許状が必要です。その取得のためには、教育職員免許法および同法施行規則等に定められた課程（教職課程）を履修し、所定の単位を修得して大学等を卒業しなければなりません。教員免許状を取得しようとする者は、教員となるにふさわしい人格と学業への熱意を持ち、心身ともに健康でなければなりません。したがって、資格を取得しておけば何かの役に立つのではないかという安易な気持ちで履修しないようにしてください。本学の教職課程の該当科目は教育学部子ども発達学科の教育課程（カリキュラム）に全て含まれています。

(1) 教職課程科目

本学で小学校教諭の免許状を取得するには、次表の①～④に示す単位を修得しなければなりません。

科目区分	本学での小学校教諭一種免許状取得に必要な単位数	免許法で定められている免許状取得に必要な最低修得単位数
①教科及び教科の指導法に関する科目 【表 A】	39 単位以上	30 単位以上
②教育の基礎的理解に関する科目等 【表 B】	35 単位以上	29 単位以上
③大学が独自に設定する科目 【表 C】	4 単位以上	2 単位以上
④教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 【表 D】	6 単位以上 ※以下④参照	8 単位以上
合 計	85 単位以上	69 単位以上

① 教科及び教科の指導法に関する科目 【表 A 参照】

教科（小学校）の内容及びその指導法に関する専門的知識を修得するための科目です。

② 教育の基礎的理解に関する科目等 【表 B 参照】

学校教育に関する広範囲の専門知識（教科内容及び各教科の指導法以外）を修得するための科目です。

③ 大学が独自に設定する科目 【表 C 参照】

「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」のどちらにも該当しませんが、これらに準ずる科目が各大学独自に設定されています。この「大学が独自に設定する科目」の単位数には、最低修得単位数（上表の一番右の欄）を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」を充てることができます。

④ 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 【表 D 参照】

「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に関する科目です。本学の小学校課程では、「体育」の区分に相当する科目として、「教科に関する専門的事項」（「教科及び教科の指導法に関する

る科目【表 A 参照】の中の区分)の「体育」の区分に相当する科目と同じ科目を充てています。

(2) 教育実習（小学校）の履修条件

小学校教諭（一種）の教職課程において「教育実習（4年次）」を履修するにあたっては、原則として以下の3つの条件を満たしていることが必要です。

- ① 卒業に必要な単位数の内、実習前年度終了時までに **100 単位以上**の単位を修得していること
- ② 本学で定める「教科及び教科の指導法に関する科目」39 単位のうち 35 単位以上、「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」及び「教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目」のうち、実習前年度終了時までの必修及び選択必修の単位を修得していること
- ③ 実習生として教育実践現場に立つにたる、学修意欲【出席や遅刻等の状況を含む】、知的能力（原則として【実習前年度終了時点で通算 GPA 値 2.3 以上】）及び日常の生活態度を有すること

(3) 介護等体験への参加資格

小学校教諭の免許状を取得するためには「介護等体験」に参加しなければなりません。教育学部では、2年次に「介護等体験」を行います。参加するにあたっては、1年次に（前年度までに）「教職概論」「教育学概論」「教育心理学」「発達心理学」「社会福祉概論」「社会的養護Ⅰ」の6科目全ての単位を修得していることが必要です。

(4) 教職課程科目一覧

【表 A：教科及び教科の指導法に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分		免許状取得に必要な最低修得単位数	本学における科目名	単位数	配当年次	開講期間	教員養成コースにおける卒業要件上の必修・選択の別	教職課程における必修・選択の別
教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	30	国語	2	2年	前期	選択	必修
	社会		2	2年	後期	選択	必修	
	算数		2	3年	前期	選択	必修	
	理科		2	3年	前期	選択	必修	
	生活		2	2年	前期	選択	必修	
	音楽		1	1年	後期	選択	必修	
	図画工作		2	1年	後期	選択	必修	
	家庭		2	3年	前期	選択	必修	
	体育		2	1年	後期	選択	必修	
	外国語		2	3年	前期	選択	必修	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	30	国語科教育法	2	2年	後期	選択	必修
	社会		2	3年	前期	選択	必修	
	算数		2	3年	後期	選択	必修	
	理科		2	3年	後期	選択	必修	
	生活		2	2年	後期	選択	必修	
	音楽		2	2年	前期	選択	必修	
	図画工作		2	2年	前期	選択	必修	
	家庭		2	3年	後期	選択	必修	
	体育		2	2年	前期	選択	必修	
	外国語		2	3年	後期	選択	必修	

【表 B：教育の基礎的理解に関する科目等】

※下線科目は、介護等体験への参加資格となっている科目

免許法施行規則に定める 科目区分等		免許状取得 に必要な 最低修得 単位数	本学における 科目名	単位 数	配当 年次	開講 期間	教員養成コー スの卒業要件 上の必修・選択 の別	教職課程 における 必修・選択 の別
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育学概論</u>	2	1年	前期	必修	必修
	教育史		2	3年	後期	選択	選択	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容		<u>教職概論</u>	2	1年	後期	必修	必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育社会学	2	3年	前期	選択	必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育法規	2	3年	後期	選択	選択
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>発達心理学</u>	2	1年	前期	必修	必修
	教育課程の意義及び編成の方法		<u>教育心理学</u>	2	1年	後期	必修	必修
			特別支援教育論	2	3年	後期	選択	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法	2	3年	前期	選択	必修
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2	3年	前期	選択	必修
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	2	3年	前期	選択	必修
	教育の方法及び技術		教育方法論	2	2年	後期	選択	必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報機器の活用に関する理論と方法	1	1年	後期	選択	必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	1	3年	前期	選択	必修
	教育相談の理論及び方法		教育・保育相談	2	3年	後期	選択	必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導論	1	3年	前期	選択	必修
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前及び事後の指導（小学校）	2	4年	前期	選択	必修
	教育実習（小・中）		4	4年	前期 後期	選択	必修	
	教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小・中・高）	2	4年	後期	選択	必修

【表 C：大学が独自に設定する科目】 ※下線科目は、介護等体験実習への参加資格となっている科目

免許法施行規則に定める科目区分等	免許状取得に必要な最低修得単位数	本学における科目名	単位数	配当年次	開講期間	教員養成コースの卒業要件上の必修・選択の別	教職課程における必修・選択の別
大学が独自に設定する科目	2	多文化理解教育	2	3年	後期	選択	選択
		<u>社会福祉概論</u>	2	1年	前期	必修	必修
		<u>社会的養護Ⅰ</u>	2	1年	後期	選択	必修

【表 D：教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目区分	免許状取得に必要な最低修得単位数	本学における科目名	単位数	配当年次	開講期間	本学の卒業要件上の必修・選択の別	教職課程における必修・選択の別
日本国憲法	2	憲法	2	1年	前・後	選択	必修
体育	2	体育（※）	2	1年	後期	選択	必修
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	1	1年	前期	選択	必修
		英語Ⅱ	1	1年	後期	選択	必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	PC・ネットワーク入門	2	1年	前期	選択	必修

※【表 A】の「体育」と同じ科目

【実習要件】教育学部（教員養成コース）※小学校教諭免許状と幼稚園教諭免許状を希望する場合

実習を行うにあたっては、下記科目表と科目表以外の履修要件の単位を修得していることが要件となっています。「教育実習（小・中）」を行うには、細字科目の単位を前年度までに全て修得する必要があります（教科及び教科の指導法に関する科目については、（ ）科目のうち 35 単位以上）。「教育実習（幼稚園）」の実習を行うには、細字科目の単位を前年度までに修得しているもしくは履修中であることが必須です。介護等体験への参加のためには、斜字体波線 6 科目を前年度までに全て修得する必要があります。

なお、学年配当や前期・後期については変更となる可能性があります。

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
小学校教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>社会福祉概論</u> ・憲法 ・英語 I ・PC・ネットワーク入門 	<ul style="list-style-type: none"> ・(音楽) ・(図画工作) ・情報機器の活用に関する理論と方法 ・(体育) ・英語 II 	<ul style="list-style-type: none"> ・(国語) ・(生活) ・(音楽科教育法) ・(図画工作科教育法) ・(体育科教育法) 	<ul style="list-style-type: none"> ※(介護等体験) ・(社会) ・(国語科教育法) ・(生活科教育法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(算数) ・(理科) ・(家庭) ・(小学校英語) ・(社会科教育法) ・教育社会学 ・生徒指導論 ・進路指導論 ・道徳教育の指導法 ・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法 	<ul style="list-style-type: none"> ・(算数科教育法) ・(理科教育法) ・(家庭科教育法) ・(小学校英語教育法) ・特別支援教育論 ・教育・保育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育実習</u> <u>(小・中)</u> 	
幼・小共通	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育学概論</u> ・<u>発達心理学</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教職概論</u> ・<u>教育心理学</u> ・<u>社会的養護 I</u> 		<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程論 ・教育方法論 				
幼稚園教諭		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と造形表現 ・幼児と身体表現 ・保育内容総論 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と健康 ・幼児と人間関係 ・幼児と環境 ・幼児と言葉 ・幼児と音楽表現 ・保育内容(造形表現) ・保育内容(身体表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容(健康) ・保育内容(人間関係) ・保育内容(環境) ・保育内容(言葉) ・保育内容(音楽表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育実習(幼稚園)</u> 			

【実習要件】教育学部（教員養成コース）※小学校教諭免許状と中学校教諭免許状を希望する場合

実習を行うにあたっては、下記科目表と科目表以外の履修要件の単位を修得していることが要件となっています。教育実習（小・中）を履修するには、細字科目の単位を前年度までに全て修得する必要があります（教科及び教科の指導法に関する科目については、（ ）科目のうち 35 単位以上）。教育実習Ⅰ（幼稚園）の実習を行うには、細字科目の単位を前年度までに修得しているもしくは履修中であることが必須です。介護等体験への参加のためには、斜字体波線 6 科目を前年度までに全て修得する必要があります。

なお、学年配当や前期・後期については変更となる可能性があります。

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
小学校教諭		<ul style="list-style-type: none"> ・(音楽) ・(図画工作) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(国語) ・(生活) ・(音楽科教育法) ・(図画工作科教育法) ・(体育科教育法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(社会) ・(国語科教育法) ・(生活科教育法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(算数) ・(理科) ・(家庭) ・(小学校英語) ・(社会科教育法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(算数科教育法) ・(理科教育法) ・(家庭科教育法) ・(小学校英語教育法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育実習</u> <u>(小・中)</u> 	
小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育学概論</u> ・<u>発達心理学</u> ・<u>社会福祉概論</u> ・憲法 ・英語Ⅰ ・PC・ネットワーク入門 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教職概論</u> ・<u>教育心理学</u> ・<u>社会的養護Ⅰ</u> ・情報機器の活用に関する理論と方法 ・英語Ⅱ ・(体育) 		<ul style="list-style-type: none"> ※ <u>(介護等体験)</u> ・教育課程論 ・教育方法論 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の指導法 ・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育社会学 ・生徒指導論 ・進路指導論 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育論 ・教育・保育相談 		
中学校教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・専門スポーツ実習(器械運動) ・総合野外活動実習Ⅰ ・トレーニング実習 ・解剖生理学Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門スポーツ実習(陸上競技) ・解剖生理学Ⅱ ・小児保健論 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ社会学 ・バイオメカニクス ・トレーニング科学 ・運動生理学 ・救急処置法 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門スポーツ実習(ダンス) ・専門スポーツ実習(球技) ・衛生学 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育教育法Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健 ・保健体育教育法Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>教育実習</u> <u>(小・中)</u> 	

※科目表以外の履修要件

- ・教育実習（中学校）…
 - ① 卒業に必要な単位数の内、実習前年度終了時までには 100 単位以上の単位を修得していること
 - ② 実習生として教育実践現場に立つにたる学修意欲【出席や遅刻等の状況を含む】、知的能力【GPA 条件】及び日常の生活態度を有すること

※GPA 条件は以下の表の通り。

実習先	条件
愛知県立	3 年前期終了時の通算 GPA が 2.0 以上
名古屋市立	2 年前期終了時の通算 GPA が 2.8 以上
それ以外（母校に限る）	2 年前期終了時の通算 GPA が 2.4 以上

- ・教育実習（小学校）…
 - ① 卒業に必要な単位数の内、実習前年度終了時までには 100 単位以上の単位を修得していること
 - ③ 実習生として教育実践現場に立つにたる学修意欲【出席や遅刻等の状況を含む】、知的能力【原則として実習前年度終了時点で GPA2.3 以上】及び日常の生活態度を有すること
- ・教育実習（幼稚園）…
 - ① 卒業に必要な単位数の内、実習前年度終了時までには 64 単位以上の単位を修得していること
 - ② 実習生として教育実践現場に立つにたる学修意欲、知的能力及び日常の生活態度を有すること
- ・保育実習…
 - ① 実習生として保育実践現場に立つにたる学修意欲、知的能力及び日常の生活態度を有すること